

代表質問

(発言順及び時間)

公明党(180分)、無所属の会(135分)、清風会(135分)、自由民主党(135分)、日本共産党(135分)、民進・連合・社民(120分)、創生市川第1(120分)、創生市川第2(105分)、創生市川第3(105分)

(会派別議員名簿は10面に掲載)

創生市川第2

〔総括質問者〕

松永 修巳

鈴木 雅斗

金子 正

仮本庁舎への送迎バス

問 新庁舎の整備に関して、施政方針では、新第2庁舎に本庁舎機能を一時移転している間は、JR本八幡駅と仮本庁舎間に送迎バスを運行させる等、来庁者に極力不便をかけないように努めるとある。バス運行の内容及び費用について問う。

答 仮本庁舎への来庁者は事業者よりも高齢者等の一般市民が多いことから、利便性を高めるため、最寄り駅である本八幡駅北口ロータリーと仮本庁舎駐車場を送迎バスで結ぶ。平日運行で、1時間毎の運行間隔となるが、まずは利用状況を見極めた上、できることは工夫していきたい。また、バスの始発は本八幡駅8時30分発、最終は仮本庁舎17時40分発、水曜日は20時10分発の予定で、28人乗車のマイクロバスとなる。本輸送業務は京成バス株式会社に委託し、費用についてはバスの改修等に約500万円、輸送委託料として3年間約3500万円となる。

待機児童対策

問 平成28年5月に策定した待機児童対策緊急対応プランに基づく児童受け入れ枠の拡大等に関して、29年

2月8日付けの通知では、目標と定めた1200名に對し、29年4月には1006名、83・8%の達成率となり、夏頃までには89・2%になる見込みとのことである。そこで、同プランの進捗につき市の考えを問う。

答 待機児童対策緊急対応プランは、受け入れ枠の大幅な拡大を図るため、こども政策部の若手職員を中心に、従来とは異なる視点と発想で策定したものである。なお、同プランの策定後も、部内での定期的な打ち合わせや情報共有、関係部署との調整を行う等、部内の職員が丸となって取り組んでいる。また、国が進める



保育園の様子

防犯政策

問 全国の振り込め詐欺等の平成28年の被害金額は、

車両の扉位置が一定で、ホーム幅が確保できる等の条件を満たす駅に、原則として32年度までにホームドアを整備する方針を示した。本市では、JR市川駅及びJR本八幡駅が一日当たり利用者数10万人以上となっている。ホームドアの整備には、一駅当たり数億から10数億円の費用がかかり、国、鉄道事業者及び地方公共団体が3分の1ずつ負担することになる。今後JR東日本に対し、両駅のホームドア整備に向け、引き続き要望を行っていく。

27年に比べ15・7%の減となっているが、それでも一日当たり1億円以上の被害が出ていることになる。市は、自治体が担う防犯の役割をどう考えているのか。また、防犯を進めるに当たり、市が凶悪犯罪者の所在を把握することが重要と考えるが、市の見解を問う。

答 防犯における市の役割は、犯罪を未然に防ぐ活動を通じて、治安に対する市民の安全意識や安心感を向上させることにある。市は、防犯活動に対する物品支援、青色防犯パトロールの実施、街頭防犯カメラの整備、防犯講演会の開催、犯罪に強い住環境づくりに関する助力等、様々な防犯事業を進めている。また、これまで

国語力の向上

問 外国語教育に関しては、国際化の中で保護者等から英語習得の要望が強まってきている。一方で、国語力は思考力や表現力と切っても切り離せない、全ての学力を支える基本中の基本であると考えられる。子どもの国語力の向上について、市の取り組みと考え方を問う。

答 市は、国語力の知識や技能は全ての教科等の基盤となるという認識に立ち、読書教育の推進や学校図書室の活用等、指導の充実を図っている。昨今、国内外の学力調査の結果からも、児童生徒の読解力や記述式問題への対応に課題があり、思考力・判断力・表現力等の一層の育成が重視されている。本市でも同様の傾向がみられ、全国学力・学習状況調査における分析結果を踏まえ、授業の改善に向けた授業アイデア例を各学校に周知するといった取り組みを行っている。今後、様々な教員研修会を企画し、国語力の向上を目指した取り組みを進めていく。

創生市川第3

〔総括質問者〕

荒木 詩郎

松永 鉄兵

稲葉 健二

市政運営

問 平成29年度は、市長が市政を担って2期目8年間

の最終年度であるが、大久保市政の特徴を市長自身はどのように捉えているのか。また、活力のあるまちでいきいきと暮らしていける、それぞれの地域にふさわし

い市民本位のまちづくりを進めていく必要があると考えるが、各地域の市民の声をどう反映していくのか。

答 行財政改革こそが大久保市政の特徴であり、8年間の全てがここに凝縮されている。また、市長の業務はエンドレスであり、市長としてやるべきことが尽きることはないと考えている。市政を運営するに当たっては、当初から市民の声に耳を傾けることが重要であると考え、声なき声にも耳を傾けてきた。今後も、地域

武蔵野線沿線のまちづくり

問 市長は平成25年度施政方針で、武蔵野線沿線のまちづくりにつき、新駅構想を含めたまちの将来像の立案に向け、スマートシティの概念を取り入れた計画的な土地利用の可能性を検討



武蔵野線新駅の検討場所(柏井町2・3丁目)

しており、29年度は具体的な設計の資料として地盤調査の実施を予定している。今後も武蔵野線沿線まちづくりの実現に向け、関係権利

者、関係機関の協力、及び市民の理解を得ながら事業を着実に進めていく。

インターネット議会中継

市川市議会

検索

市川市議会の本会議は、「いちかわインターネット放送局」で、ライブまたは録画をご覧ください(録画は概ね1年間公開)。また、市川市議会ホームページでは定例会の日程や審議結果、会議録などの情報を掲載しています。